

しずおかの景気動向

平成22年 7-9月期

当会議所では、このほど平成22年9月に実施した管内企業の景況調査の結果をとりまとめました。

この調査は会員企業の景気動向を把握し、経営の参考にさせていただくことを目的に四半期ごとに実施しているものです。

■調査方法

郵送によるアンケート方式

■調査対象

- 製造業
- 小売業
- サービス業
- 卸売業
- 建設業
- 葵区・駿河区：計3000社

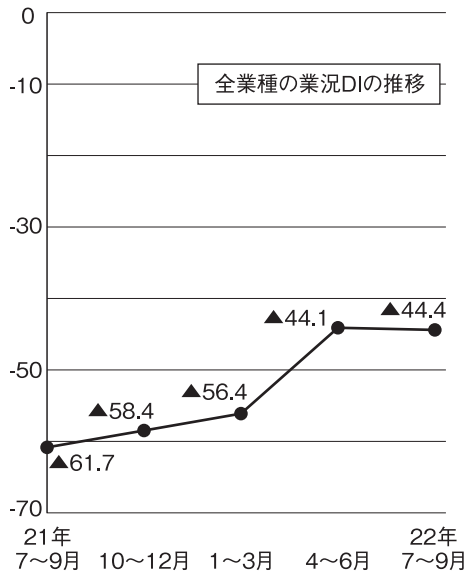
- （回答状況213社）
（回答率71.0%）
- （回答状況155社）
（回答率77.5%）

※D-I「好転」と回答した企業の割合から「悪化」と回答した企業の割合を差し引いた数値。

葵区・駿河区

1 前期と比べて

全業種の業況D-Iは△44.4で、前期（平成22年4月～6月期）の△44.1から足踏み状態を示しています。業種別に見ると、小売業卸売業建設業ではマイナス幅が縮小し、サービス業製造業ではマイナス幅が拡大しました。



2 来期の見通し

来期（平成22年10月～12月期）の見通しD-Iは全業種で△42.5で、今期に比べマイナス幅が1.9ポイント縮小し、若干改善するという結果となりました。

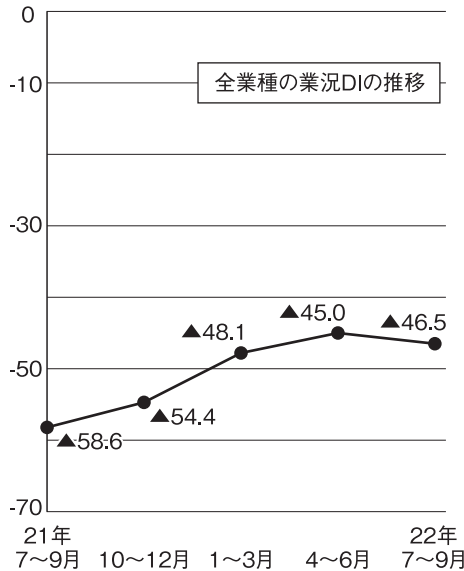
3 経営上の問題点

製造業、卸売業、小売業、サービス業の四業種においては「需要の停滞」、建設業は「請負単価の低下・上昇難」が経営上の問題点のトップにあがる結果となりました。

清水区

1 前期と比べて

全業種の業況D-Iは△46.5で、前期（平成22年4月～6月期）の△45.0と比べ、マイナス幅が1.5ポイント拡大しました。業種別に見ると、卸売業建設業では、マイナス幅が縮小しましたが、小売業製造業サービス業はマイナス幅が拡大し、全体としては業況の悪化傾向を示しました。



2 来期の見通し

来期（平成22年10月～12月期）の見通しD-Iは全業種で△43.5と今期に比べ、マイナス幅が3.0ポイント縮小するという結果となりました。

3 経営上の問題点

製造業、卸売業、小売業、サービス業の四業種においては「需要の停滞」、建設業においても「民間需要の停滞」が経営上の問題点のトップにあがる結果となりました。